

STデータ補正アプリケーション

SeatTracer Data Correction Application

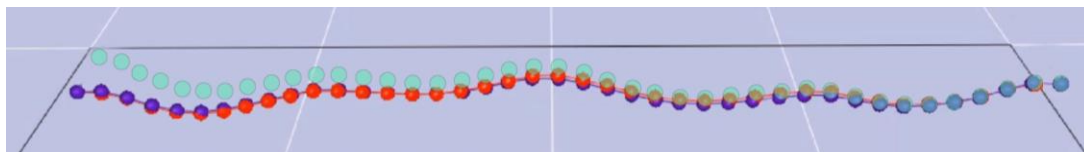


シートトレーサーデータをより正確に、様々な表現へ！

特徴

- ・シートトレーサーセンサのドリフトによる計測誤差の影響を軽減！
- ・ST計測データをモーションキャプチャデータと統合してグローバル座標で管理！
- ・加振などの動的試験にも対応したデータ取得！
- ・STセンサが横ずれしてしまって計測ポイントが分からなくなることも解消！
- ・加振試験時のシートの沈み込み変位量だけを抽出！ ※要ビューワーソフト

これまでの悩みを一気に解決！

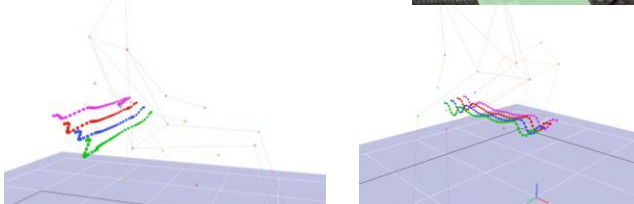


● : STデータ ● : ST補正データ ● : 実際の変位データ

※STデータのドリフト誤差については、計測中のセンサの加速度、ジャイロの出方によってその程度が変わります。

モーションキャプチャ対応版

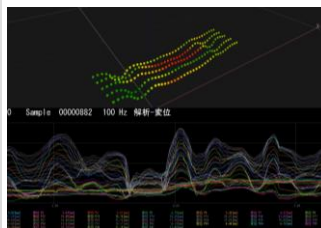
6軸モーションベースにシートを固定した加振試験などではSTの原点が動いてしまいます。原点-終点に反射マーカを配置し、モーションキャプチャでST原点-終点位置を経時的に取得することで、その座標点を用いて、毎フレーム動くデータを補正します。これにより、モーションキャプチャのグローバル座標系で全ての3次元データが管理でき、STデータ以外の、人やシートに配置したマーカデータも同時に管理することができます。



※対応するモーションキャプチャは事前にご相談ください。

両端座標固定版

モーションキャプチャを使用しない補正方法です。3次元測定器等で測定したSTセンサの原点-終点の3次元座標を入力し、その2点を固定点として、STデータを補正します。計測中、原点-終点座標が動かないことが条件となります。



モーションキャプチャソフトをビューワーとすることで、補正した計測データを3次的に可視化することや、特定のポイントを基準とした相対変位を算出（変位量に合わせた色表示やグラフ、csvアウトプットなど）することもできます。※対応するモーションキャプチャソフトは事前にご相談ください。

弊社では、特殊形状のセンサや3軸力覚センサを応用した計測システム等、お客様のニーズにお応え致します。計測業務でお困りの際は、お気軽にご相談ください。